

序 文

近年、ダムの止水設計は、地質調査法や解析手法の進歩とともに、地山に軟岩、低固結層等の低透水域があればこれらの不透水性を活用する考え方に大きくシフトしており、従来は掘削除去していた地盤も耐変形性に問題が無ければできるだけ残し、止水に係わる施工量と範囲を最小限に抑えることで、コスト低減と改変面積減による環境影響軽減を図ることが求められている。

このようなダムの基礎地盤の止水設計方法の変化を反映して、グラウチング技術指針（平成15年度本格運用）が改訂された。グラウチングは、ダムの基礎地盤の必要な遮水性を確保し弱部補強による均一性向上を図るもので、最も基本的でかつ施工実績も多い工法である。

平成15年度のグラウチング技術指針改訂の主旨は、安全性を損なわないことを大前提として、①グラウチングの本来の施工目的・施工範囲の明確化、②基礎地盤の状況に適したグラウチングの実施、③施工状況に応じたグラウチング仕様の継続的な見直しを基本的な柱として、グラウチングの施工コストの軽減を図ろうとするものである。平成14年度から新たにグラウチング工事に着手する国土交通省所管の直轄・機構ダム等において試行するとともに、一部修正を加えて平成15年度から本格的に適用されたものである。

平成13年度から平成16年度にかけて検討された31ダムの基礎グラウチング資料（ダム基本設計会議資料）を対象に、ダムの概要、水理地質構造、グラウチング計画・設計・施工等の事例を調査して、文章および図面にて整理して事例集としてとりまとめた。本報告で取り扱っているグラウチングと類似した検討を今後行う際に活用されれば幸いである。

平成17年 6月

国土技術政策総合研究所河川研究部 ダム研究室長 安田 成夫

目次

頁

序文

ダムの基礎グラウチング事例の分類・概要

1. 事例調査対象ダムと資料整理項目
2. グラウチング事例の分類と概要

付録 【ダムの基礎グラウチング事例】

(巻末に添付したCD-ROM内にPDFファイル形式で収録)

付録1. 改訂指針に対応

東北地整	森吉山ダム	山梨県	琴川ダム
東北地整	長井ダム	岐阜県	中野方ダム
中国地整	灰塚ダム	福井県	二ツ屋導水堰
内閣府	大保脇ダム	兵庫県	石井ダム
岩手県	鷹生ダム	鳥取県	朝鍋ダム
福島県	木戸ダム	岡山県	河平ダム
新潟県	広神ダム	沖縄県	我喜屋ダム

付録2. 一部改訂指針に対応

長野県	余地ダム	鳥取県	東郷ダム
山梨県	深城ダム	長崎県	つづらダム
石川県	九谷ダム	熊本県	上津浦ダム

付録3. 旧指針に対応

東北地整	摺上川ダム	茨城県	小山ダム
中部地整	小里川ダム	長野県	小仁熊ダム
近畿地整	大滝ダム	広島県	四川ダム
中国地整	苫田ダム	福岡県	福智山ダム
東北農政局	世増ダム	鹿児島県	川辺ダム
栃木県	三河沢ダム		